

その他の木材・木製品製造業における墜落・転落災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
3	17~18	当社内木くず処理作業場において、油圧ショベル（ユンボ）による作業を終え、ユンボから降りる際にステップに足が引っ掛かり転倒し、1m程下に転落した。両膝を強打した際、特に右膝を側溝の角にぶつけてしまい、右膝蓋骨骨折を負った。	33	1~9
4	13~14	製材挽き場にて、高さ3メートル位の所にある挽き粉を吸いあげるファンのベルト交換を行った時、梯子を使用した。作業終了後、梯子でバランスを崩し2メートル位の高さから飛んで着地し、右脚踵に衝撃を受けた。	58	1~9
6	16~17	ユニットハウス積込作業中、梯子に登り、1m位の所で体のバランスを崩し、両足にて着地した際、両足かかとを骨折した。	75	10~29
6	9~10	4tトラックにて配送先で荷物を引き取り後、配送先の駐車場でトラック荷台の側面に乗り、トラックシートの具合を引っ張って直そうとした。その際、シートを引いた手が滑り、そのはずみで体が荷台から地面に落下した。荷物の整理積載の手間を惜しんだことにより、足場の少ない荷台側面で無理して作業を行ったことが事故の主要因と考える。	63	10~29
7	9~10	ペレット燃料を貯蔵タンク（約3m）に補充する作業中、トラックからクレーンでペレット燃料を吊り上げ、位置調整のためクレーンのクラブに縛り付けたロープを引き寄せたとき、ロープが切れて、バランスを崩してタンクから転落し、被災した。	54	10~29
10	10~11	4tトラックに資材を積み込む作業中に、積み込んだ資材をワイヤーで荷締め作業を行っている際、ワイヤーに足を取られ地面に転落し負傷した。	66	1~9

11	17～ 18	自社作業場において高さ70cmの作業台の上で、ドアの修復中、ボンドを塗ったベニヤ板を足で踏みつけていたところ、端からバランスを崩して落ちて、右足の踵を強く床に打ちつけて、打撲したものである。	66	1 ～ 9
11	8～9	自社の木くず中間（破碎）処理場において、木くず保管のピットの周囲を清掃中、（分別した木くずを構内運搬し、保管のピットに投入後、ピットの周囲に引っ掛かって、入らなかった木くずをピットに入れる作業中）バランスを崩し、ピットに落ち、着地時に右手をつき右手首を負傷した。	56	30 ～ 49
11	15～ 16	第一工場から部材を軽トラックに乗せ第二工場に移動中、部材を乗せていたトラックの荷台の後方に乗り込んで座っていた際、持っていたアオリ施錠が外れ65cm下に後ろ向きに尻から落下し、全身を打ったものである。	36	10 ～ 29

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html